

導入機能の検討状況について

1 検討の経過

（仮称）新庁舎建設基本計画の策定に向け、各導入機能別の専門部会で検討を行い、庁内検討段階における整備の方向性を整理した。

2 導入機能別のあるべき姿と方向性

（1）防災

あるべき姿

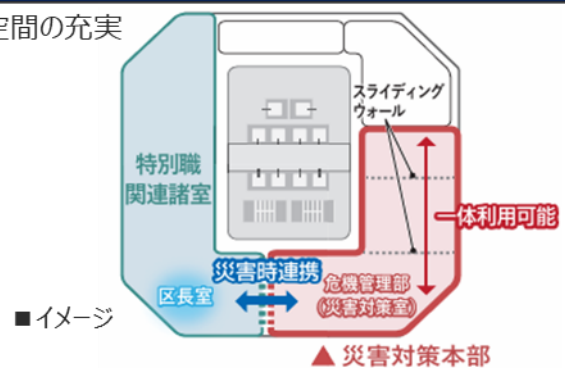
- ・災害対策本部の機能を確実に実行
- ・ライフライン途絶時にも機能発揮するための十分なバックアップ

方向性

①災害対策本部の機能強化と災害時対応業務との連携強化

今後の検討案等

- ・リアルタイムでの災害情報収集、本部室の設備、空間の充実
- ・首脳部執務室と対策本部を近接配置
- ・その他の本部の位置、連携強化
- ・関係機関との連携強化、その他諸室の充実
- ・職員用備蓄の確保 など



②災害時の迅速な機能転換、臨時業務の対応

今後の検討案等

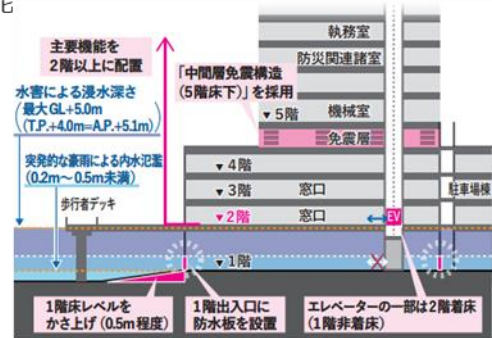
- ・通常時の会議室等を災害時に活用できる可変性のある空間
- ・災害時に庁舎全体が災害対応にシフトできるよう全庁的な機能転換図を計画
- ・臨時対応や応援など非常時の活動の受け皿となる半屋外広場やホールの整備
- ・防災拠点の補完機能として新しい文化センターのありかた など



③将来の災害に耐えうる建物・敷地の防災性

今後の検討案等

- ・地震対策 人命確保に加え機能継続性を確保した性能
- ・浸水対策 浸水対応拠点建築物化する
- ・感染症対策
- ・敷地の防災性 など



■イメージ

出典：江戸川区新庁舎基本設計

④本部業務や事業継続のためエネルギー等のバックアップ強化

今後の検討案等

- ・電力の多重化(長期間の自立運用と再生可能エネルギー活用)
- ・電力バックアップ期間 (7日程度)
- ・飲用水、雑用水を確保 (7日程度)
- ・下水の確保 (7日程度)
- ・通信、庁内LAN環境の冗長性確保
- ・代替施設の想定 など

災害発生時		初動期		展開期		安定期		復旧期			
		災害発生直後		発生後～3日程度		3日～1週間程度		1～2週間程度		2～3週間程度	
電源	a 中圧ガス供給可能時 中圧ガス運転	非常用発電機・コージェネレーションシステム (CGS) 継続運転 通常業務必要電力の約90%を確保									
	b 中圧ガス供給途絶時	パターンA：通常業務必要電力の約70%を7日間程度供給可能 パターンB：通常業務必要電力の約30%に制限することで14日間程度供給可能 パターンC：通常業務必要電力を約15%に制限することで21日間程度供給可能									
	備蓄燃料運転 (備蓄燃料7日分)										
飲用水	受水槽	水源確保7日分				給水車で対応				復旧	
便器洗浄水	受水槽・ピット	水源確保7日分				汚水再利用時対応				復旧	
汚水	緊急時汚水槽	貯留可能量8日分				汚水搬出					
	排水再利用	(電力供給のある限り) 継続運転				運用パターンによっては継続運転可能					
空調	a 中圧ガス供給可能時	非常用発電機・CGS 継続運転 (重要エリアのみ)									
	b 中圧ガス供給途絶時	非常用発電機 継続運転 (重要エリアのみ) インフラ多量化によっては清潔なエネルギー転換									

■イメージ

出典：川崎市新庁舎 Blueprint

(2) 交流・協働

あるべき姿

- ・区民の憩いや交流、活動を支える場
- ・区民の活動や区の魅力、PRを行う情報発信の拠点
- ・「江東区らしさ」である水やみどりが豊かな空間の創出

方向性

①交流空間

今後の検討案等

あらゆる世代や多様な区民が日常的に立ち寄り交流・活動ができるまちに開かれ、新しい交流や賑わいを生み出す

- ・区民が憩い、まちに開かれ自由に利用できる屋内外の広場空間の整備を検討
- ・区関連イベントや区民の活動のため、多用途に利用できる室・スペースを検討 (複数の室、スペースを想定)
- ・来庁時の待合いやまちの賑わいなどより豊かに過ごすための空間整備 など

■イメージ



出典：中野区ホームページ

②情報発信スペース

今後の検討案等

区政情報や区民活動など区全体の魅力発信の場
多様な人々に向けた新たな情報発信拠点

- ・新しいこうとう情報ステーションのあり方
- ・区民の情報発信、区の魅力発信
- ・各課情報発信の再構成
- ・庁舎全体の情報発信の場の再構成 など

■イメージ



出典：中野区ホームページ

③水とみどりの空間

今後の検討案等

区民の憩いとなる親水空間や緑地の形成を実現する
とともにまちの魅力向上にも寄与する

- ・区民の憩いとなる緑地など
- ・区民と共に育てる緑地など
- ・まちの魅力を向上、周辺と連続した緑地 など

■イメージ



出典：豊島区役所

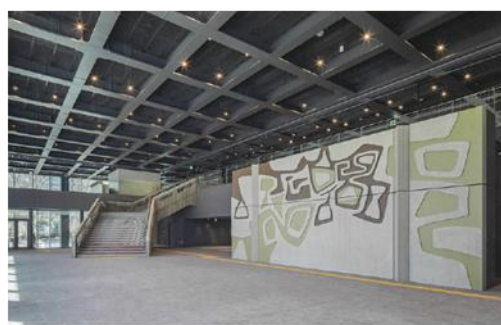
④新しい文化センターとの機能整理

今後の検討案等

文化センターと一体的な整備を行うことで、他の自治体の
庁舎整備にはない魅力を生み出す

- ・区民の日常的な文化活動の場として整備
- ・庁舎の交流・協働空間との効果的な配置 など

■イメージ



出典：世田谷区本庁舎第1期工事竣工パンフレット

(3) 性能（環境性能）

あるべき姿

・区のゼロカーボンを先導する高い環境性能

方向性

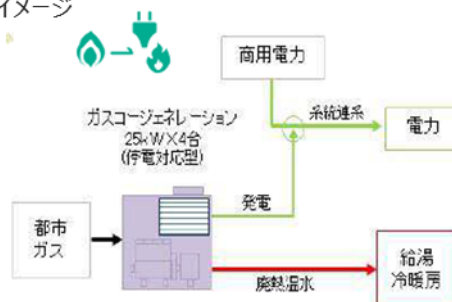
①省エネルギー性能の高い庁舎

今後の検討案等

庁舎整備を契機として区のゼロカーボン達成に寄与
 ・ZEB ready以上の環境性能をもった庁舎
 ・BEMS等エネルギーの見える化によって効率的な運用
 ・断熱性、気密性の向上、日射遮蔽による熱負荷低減
 ・自然通風、自然採光等の機械的手法によらない省エネ手段を組み合わせ導入 など



■イメージ



出典：渋谷区新庁舎2019.1新庁舎整備計画Ver.1

②再生可能エネルギーの積極的活用

今後の検討案等

・自立的かつ持続可能なエネルギーを確保する
 ・太陽光発電設備その他の再生可能エネルギーの導入検討
 ・環境配慮エネルギーの調達
 ・エネルギーの二次利用、面的利用の可能性検討 など

■イメージ



出典：国分寺市新庁舎建設事業 事業誌

③「みどりの中の都市」を体現する庁舎の緑地環境

今後の検討案等

・みどりの中の都市（CIG）を実現。区民が水やみどりの空間に親しむことができる庁舎周辺環境
 ・建物上緑化
 ・敷地の緑化 など

■イメージ



出典：江戸川区新庁舎基本設計方針

④区民の親しむ場所に木材利用を推進

今後の検討案等

木材利用推進による炭素固定等の環境貢献
木のぬくもりで区民の親しむ場所をより豊かにする

- ・メリハリのある木質化
- ・木材利用の普及促進策 など

■イメージ



出典：国分寺市新庁舎建設事業 事業誌

(4) 性能（耐震性能）

あるべき姿

- ・庁舎の機能維持や災害時の拠点としての活動を確保する高い耐震性能

方向性

①将来の災害に対する建物の安全性向上

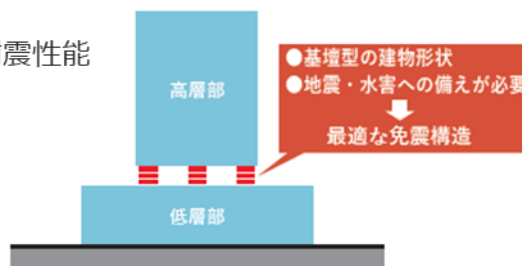
今後の検討案等

地震等の災害時に構造体の損傷を最小限にし安全性を確保する

将来の災害に備え長期にわたり安全性を確保する

- ・地震時の人命確保に加え機能継続性を確保した耐震性能
- ・長期の使用を見据えた建物 など

■イメージ



出典：江戸川区新庁舎基本設計

②機能維持のため非構造部材や建築設備の耐震性確保

今後の検討案等

人命確保だけでなく、庁舎の機能継続に不可欠な内部部材
や設備の被害を防止

- ・天井等吊りものの部材の耐震化、設備機器の耐震対策
- ・サーバー室、情報インフラの耐震対策 など

■イメージ



出典：国土交通省「防災拠点等となる建築物の機能継続に係る事例集」

③敷地の安全性向上

今後の検討案等

建物だけでなく避難、緊急輸送アクセス、屋外活動など敷地全体で災害時の対応力を強化する

- ・敷地の液状化対策
- ・敷地の浸水対策
- ・敷地周辺の延焼防止 など

■イメージ



出典：国土交通省「災害に強い首都「東京」形成ビジョン」

(5) 性能（アクセシビリティ）

あるべき姿

・あらゆる人が利用しやすいアクセシビリティの高い庁舎

方向性

①誰もが移動・利用しやすい物理的な環境整備

今後の検討案等

- ・快適かつ安全に移動・利用できる空間整備
- ・多様な利用者を想定した空間整備
- ・アプローチ等外部空間の整備 など

■イメージ



出典：中野区ホームページ

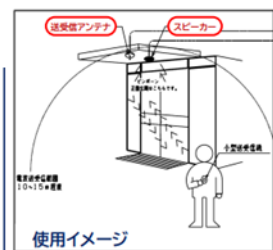
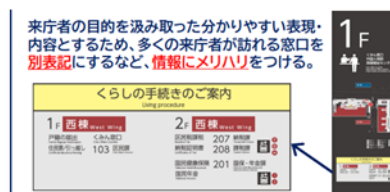


②誰もが迷わず快適にサービスを受けられる情報案内

今後の検討案等

- ・視覚情報案内
- ・音声誘導
- ・やさしい日本語や多言語対応のサイン など

■イメージ



出典：世田谷区本庁舎等におけるユニバーサルデザインの取り組み

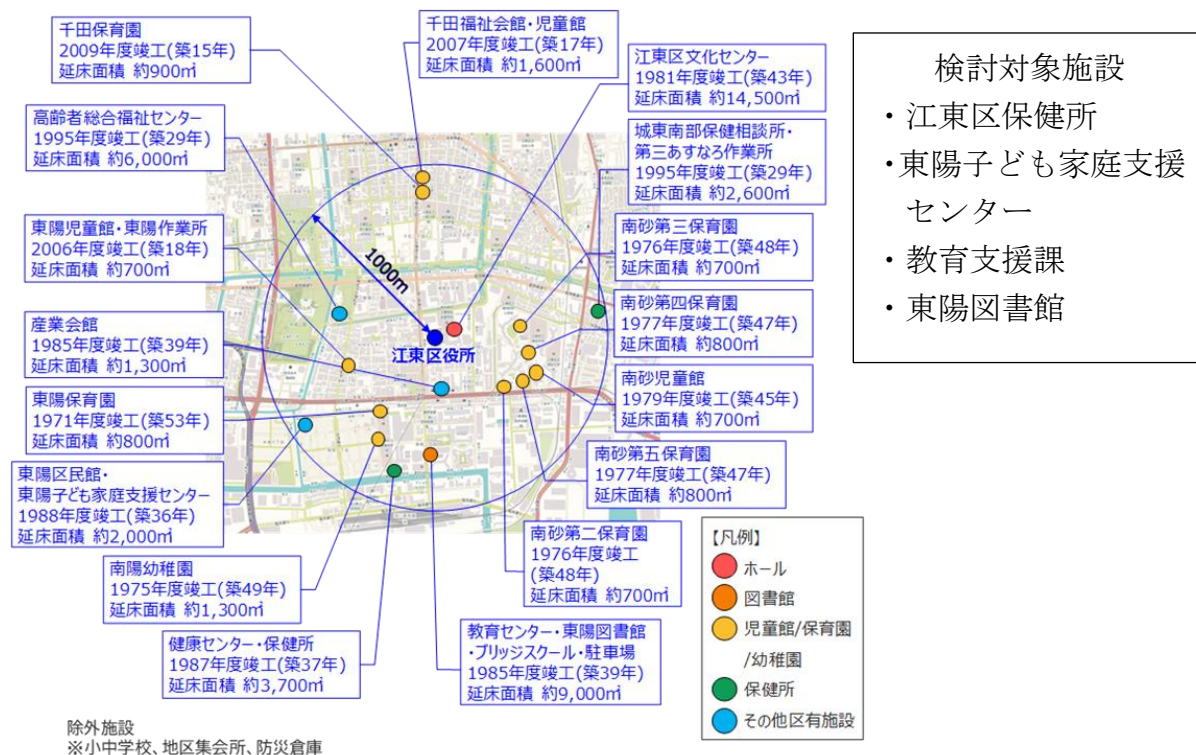
③計画段階から利用者目線を反映

今後の検討案等

- ・障害当事者や高齢者など利用者目線の意見反映
- ・職員のアクセシビリティ意識向上 など

3 その他の検討状況（複合化について）

基本構想に掲げる基本理念等の実現に向け、施設の老朽化状況、稼働状況、今後の区民ニーズ等を踏まえつつ、集約化が可能な規模や有効性等を検討した結果、検討対象施設を4施設に絞った。今後、複合化の実現可能性について検討を行う。



江東区新庁舎建設基本構想 P. 45 より